

「馬には乗ってみろ、人には添うてみる」「馬の背をかける」「生き馬の目を抜く」……。馬に関する慣用句や諺は数しれません。馬がいかに人と深くかわってきかたがうかがわれます。馬と聞くと真つ先に競馬を連想される方も多いと思います。馬同士を走り競わせる行事は、「品」ともいわれています。さて、馬は人間の願い事にもかわりがあります。そう、絵馬です。その昔、神に祈願してかなえられたとき、神馬とすように馬を献納しました。しかし、貧しい民は馬を納めることができないので、代わりに馬の絵を描いたり、馬の形に作った木片を献じたりしました。それが絵馬の始まりだといわれています。

午年の今年もまた、神社にはたくさん絵馬が献納されることでしょう。一年を健康に無事過ごせますように、そして世界に平和が訪れるよう願わずにはられません。

「走馬」「競馬」などといった奈良時代から行われており、特に端午の節句（5月5日）の競馬は恒例で、ときの天皇が御覧になった記録も残っているそうです。現在では、競馬といえばサラブレッド。より速く走ることを目的に品種改良を重ねて作り上げられた馬で、「走る芸術

**支 介**  
**千 紹**

# 今年 は 午年

事業的には、昨年は

- ・都市計画事業の推進
  - ・防災行政無線施設の更新整備
  - ・空港と地域を結ぶ空港シャトルバスの運行
  - ・屋形地先の県営湛水防除事業の推進
  - ・IT講習会の開催
  - ・横芝駅トイレの改修事業
- そして、年末になりましたが、12月1日より
- ・町内循環バス、「循環よこしば号」の運行等を計画に基づいて実施してまいりました。

本年は

- ・横芝中学校建設に向けての用地取得事業
  - ・航空機騒音防止対策事業
  - ・栗山川橋梁架設事業
  - ・防災行政無線屋外局整備事業
  - ・中台地区の農業集落排水事業の推進
- 等を引き続き事業の柱として、更には、住民生活に不可欠な道路及び排水整備、バランスのとれた農・工・商の振興、生活環境の整備や福祉事業等、諸事業の推進を図ってまいりたいと考えております。

私は、これからの10年が、新しいまちづくりの土台を築く最も重要な時期と考え、一日一日を大切にし、新総合計画の推進に全力で取り組んでまいりる所存でございますので、なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

むすびに、町民の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。